

氏名	半井明日香
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5104 号
学位授与の日付	平成 27 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Evaluation of Mucosal Healing of Ulcerative Colitis by a Quantitative Fecal Immunochemical Test (免疫学的便潜血定量法による潰瘍性大腸炎の粘膜治癒評価)
論文審査委員	教授 藤原俊義 教授 荻野景規 教授 柳井広之

学位論文内容の要旨

潰瘍性大腸炎 (Ulcerative colitis; UC) の治療目標として、粘膜治癒の達成が重要とされている。粘膜治癒の評価には大腸内視鏡検査 (Colonoscopy; CS) が必要であるが、CS は侵襲的であり頻回に施行することは患者にとって大きな負担になる。そこで CS の代替となる非侵襲的で簡便なマーカーが望まれる。免疫学的便潜血法 (fecal immunochemical test; FIT) とは便中ヘモグロビン (hemoglobin; Hb) 濃度を測定する方法で、大腸癌検診で広く用いられている。本研究では便中 Hb 濃度と UC 患者の CS 所見を比較し、粘膜治癒評価における FIT の有用性について検討した。

本研究では、CS と FIT をほぼ同時期に施行した UC 患者 152 人 310 症例を対象とした。FIT は大腸癌検診に準じ、便中 Hb 濃度 100ng/ml 未満を陰性とした。大腸粘膜所見は Mayo Endoscopic score を用いて判定し、score 0 または score 0,1 を粘膜治癒と定義した。

検討の結果、便中 Hb 濃度と Mayo Endoscopic score の間には統計学的に有意な相関関係を認めた。また、FIT 陰性の粘膜治癒予測能を算出すると、粘膜治癒を score 0 とした場合は感度 0.92, 特異度 0.71, 正診率 0.74, score 0, 1 とした場合は、感度 0.60, 特異度 0.87, 正診率 0.72 であった。

本検討により、FIT は UC において粘膜の状態を反映し、とくに FIT 陰性は粘膜治癒と強く相関することが明らかとなった。FIT は UC 診療において、CS の代替マーカーとして有用であると考えらえる。

論文審査結果の要旨

本研究は、潰瘍性大腸炎 (Ulcerative colitis; UC) の粘膜治癒を非侵襲的に評価するため、一般的な大腸内視鏡検査 (Colonoscopy; CS) の代替として免疫学的便潜血法 (Fecal immunochemical test; FIT) の有用性を検討した研究の報告である。

UC 患者の FIT による便中ヘモグロビン (Hemoglobin; Hb) 濃度と CS 所見は有意な相関が認められた。本研究により、FIT は UC における粘膜の状態を鋭敏に反映していることが示唆され、FIT 陰性は粘膜治癒と強く相関することが明らかとなった。CS の代替マーカーとしての FIT の有用性を検証し、UC 診療における新たな診断技術の可能性を示した点で、本研究は価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。